

気迫あふれる
「形」や「組手」
天童で空手道大会
県内外に支部を持つ空
手道崇武館(飛鳥宗一郎
館長)の門下生などが一



の選手約四百人が出場。
幼稚園・小学生低学年、
同中学年、同高学年、中
学生、高校・一般の部の
男女に分かれ、演武の
「形」と実戦形式の「組
手」の二種目で気迫あふ

堂に集って
の第二十九
回崇武館空
手道選手権
大会が二十
八日、天童
市スポーツ
センターで
開かれた。||
写真。
幼稚園か
ら一般まで

れる試合を展開した。
「形」では、二人が同じ
コートで同時に演じ、技
の切れや正確さを競い合
った。防具を付けて行う
組手では、選手たちが気

合の入った掛け声ととも
に素早い突きやけりを
次々と繰り出し「一本」を
取ることに周囲の「応援
団」から大きな拍手と歓
声を送られた。